

おもしろ

和暮らし

日本の風土や文化に合った心豊かな生活を楽しむための、知恵や道具、作法、行事、遊びなど、**「和暮らし」**のヒントを紹介します。

枯山水などの本格的な和風庭園を気軽に観賞できる、東京・八王子市の〈高尾駒木野庭園〉。大正年間に築造された平屋の母屋と、昭和初期に増築された二階屋は伝統的な日本家屋となっている。

この土地と建物は、現在の駒木野病院の前身である小林病院がこの地に開設され、住居兼医院として利用されていたもの。平成21年に八王子市に寄贈され、「既存施設を極力残

和風庭園

し利用してほしい」という持ち主の意向を受け、建物の外観はそのまま残し、周囲に枯山水、回遊式庭園、茶室とそれに付随する庭園・露地を整備し、平成24年4月に〈高尾駒木野庭園〉として開園された。

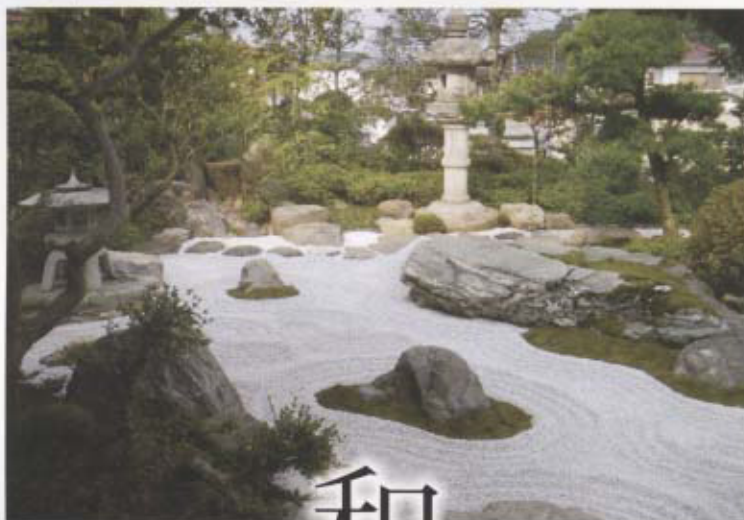
池泉回遊式庭園は中心の池の周りに設置された園路を歩きながら、庭の景観の変化を楽しむ形式で、金閣寺や二条城の丸庭園などがある。この庭園では心字池を中心に亀島などの小さな島、藤棚、蓮池などを回遊しながら観賞できる。庭園内の様々な場所から異

なった風景を楽しむことができる。

白砂の上に大小の自然石や植栽などを組み合わせた様式の枯山水は、屋内から静かに対峙して観賞するもので大徳寺大仙院書院庭園が代表的だ。枯山水は、水の代わりに砂利を用いて枯滝石組、三尊石（中央の高い主石と左右に配した低い添え石の組み合わせで浄土思想を表現したもの）などを配して、深山幽谷の流れを表現している。一方、露地は自然石手水鉢を用いた表千家様式で、下部に水琴窟を設置してある。

建物は木造で、内部は高い天井や透かし彫りなど細工を凝らした欄間、回り廊下のある座敷、障子、床の間など、伝統的な和風住宅の風情を楽しむことができる。和室は時間貸しもしており、文化活動などに利用できる。

夏の見所は「つりしのぶ」と「水石」。「つりしのぶ」は野生のシダ植物・忍を団子状にしたものに植え付けをし、コケ玉のようにしたもの。軒などに吊るし、空間を植物で飾って楽しむ日本の古典的園芸の一つだ。「水石」は室内で観賞される山水形状石のこと。盆栽同様、その形状から様々な風景が連想でき、組み合わせで飾られることもある。



協力

高尾駒木野庭園

指定管理者 駒木野庭園アーツ

東京都八王子市高尾町268-1
電話：〇四一・六六三・三六一